

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 愛の家

目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 06 月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者の入居年数が長くなるにつれ、家族の面会も少なくなってくるので、家族がホームに訪問することで、精神的な負担の軽減と、悩みや相談事が、気楽に言える環境を整え、家族との信頼関係を築いていく。	行事を兼ねた家族交流会を、家族が集まりやすい日程で調整し、家族の心情を家族同士で、話し合えるように支援し、利用者の笑顔と、家族の安心に繋がる家族会の開催を実現していく。	12ヶ月
2		重度化に向けた介護サービスの提供について	利用者の重度化が進んで、現状の職員体制で介護することは、サービスの質の低下を、招く恐れがあるので、サービスの質を維持していくための、検討をしていく。	利用者に対して、自立支援とは反対の、過剰サービスになっていないかを検討し、職員全員が利用者一人ひとりに、同じサービスの提供を目指し、チームで介護していくことを、常に意識し、介護サービスの向上に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。